

令和2年度檜山管内農業農村整備情報連絡会議を開催

令和2年11月12日（木）に檜山管内北部の北海道久遠郡せたな町北檜山区、せたな町民ふれあいプラザで令和2年度檜山管内農業農村整備情報連絡会議を開催しました。この会議は檜山管内の農業関係者を対象に地域の将来構想づくりを支援するため、農業農村整備の推進に係る情報提供や地域が保有している情報の共有、意見交換、地域の中長期計画の見直しを検討する場として毎年開催しています。本会議には、北海道開発局函館開発建設部函館農業事務所各町、各土地改良区、各JA、檜山振興局農務課、檜山農業改良普及センター檜山北部支所農村振興課から43名が出席しました。

坪井産業振興部長の挨拶後、岸田農村振興課長から農業農村整備事業を巡る情勢について説明。檜山農業改良普及センター北部支所からは「力を結集して檜山北部農業を守ろう！」農務課より「北海道の農業人材確保の取組等」、函館開発建設部からは国営農地再編整備事業「今金南・今金北地区の概要」などの情報提供を行いました。

講演会は今金町農業協同組合代表理事組合長 小田島 親守氏を講師としてお招きし「今金町の農業農村整備事業の取組について」と題し、高齢化や農業人口減少など厳しい状況に対応する内容及び今金男しゃくGI（地理的表示）登録について貴重なお話をいただきました。

13日の研修会は、檜山管内の各町、各土地改良区、各JA、農村振興課から24名が出席し事業推進体制強化に向けた取組の一つとして、団体営事業事務手続き・農地耕作条件改善事業等に係る情報提供及び現地視察としてせたな町の「西兜野排水機場」を見学しました。

檜山振興局は、今後も積極的に情報収集・情報提供・各取組事例紹介などの支援を各関係機関と連携して進めます。



冒頭で坪井部長があいさつ



各関係機関の参加状況



2日目 西兜野排水機場